



地域の方々へ、よりきめ細やかな支援が出来るように、廿日市の地域包括支援センターが分かれて三年目。「てくてく通信」は、一周年を迎え、今回5回目の発行をすることが出来ました。これまで地域包括支援センターの様々な役割をお伝えしてきましたが、ご参考になったでしょうか。日常生活のちょっとしたことから介護予防、介護保険のことなど、これからも皆様に役立つ情報を発信していきたいと思います。些細な事でも皆様より、ご意見等頂けると励みになります。



地域の話し合いに参加しました

「明石地域の現状と見守りについて」

日時:令和6年1月22日(月)

場所:明石集会所

今回、社会福祉協議会主催の「明石地域の現状と見守りについて」の話し合いに参加させていただきました。地域での見守りやサロンの活動が活発になることは、隣近所の見守り・支え合いにつながります。

話し合いの参加者は、サロンの世話人さん、民生委員さん、そして地域のことを気にかけているご近所さん、生活支援コーディネーター、地域包括支援センターの職員です。

明石地域は、人口約300人。独居や高齢者世帯が多く、子どもの数が減っています。話し合いでは、災害時のこと、田畑や家の今後のこと…など様々な課題があがりました。たくさんの意見交換を行い、『隣近所がお互いに見守り、気にかけて合うことが大切だね』、『お互いに気にかけて合うことは、災害時の“助け合い”にもつながるね』という共通認識をもちました。

明石では、サロンや百歳体操の場が住民同士の情報交換の場となっており、自然と気にかけて合うことができているそうです。皆が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、こういった住民同士の支え合いの輪が必要不可欠です。今のうちから、ご近所さんとの顔なじみの関係をつくっておくことが重要といえます。そのために、まずは、普段から挨拶を心がける、外に出る、散歩をしてみる、地域の行事に参加してみる…こういったことから、始めてみてはどうでしょうか。

明石では、今後もこうして住民同士が話し合いのできる場をもち、専門職も入って情報を共有し、“地域の気にかけて合い”を進めていくことになりました。



ある日のテク子さん

カツ男さんには同じ市内に5歳年上のお姉さんがおり、一人暮らしをしています。昔はキャリアウーマンで、退職後も地域の活動に励んでいましたが、最近少しおかしい電話がくるようになりました。「財布がなくなってねえー」とか「気に入っていた服が見当たらないのだけど、持って帰った？」等々。心配になってちょっと様子を見に行ってみました。

玄関に入ってすぐに、何となく今までとは違う雰囲気。部屋は雑然とし、花瓶の花は枯れたまま。冷蔵庫の中には賞味期限切れのものがたくさん入っており、ゴミも出されていないようです。

テク子：「お義姉さん、どこか具合でも悪いんですか？」

義姉：「どうして？ ポチポチ片づけるから大丈夫」

テク子：「それで財布や服は見つかりました？」

義姉：「何の事？ 何もなくなっていないわよ。誰がそんな事言ったの？」
話がかみ合いません。これはおかしいと思い、カツ男さんに相談しますが、「あれも年じゃし、仕方がなかろう」という頼りない返事。

お義姉さんには家族がおらず、包括支援センターに相談する事にしました。認知症地域支援推進員と保健師に話を聞いてもらうと、まずは訪問して関係性を作り、病院に行っていないようであれば「認知症初期集中支援チーム」が関わり、受診につながるよう動いてくれる事になりました。「一人で抱え込まないように」との言葉で少し気持ちが楽になったテク子さんでした。



広島名産料理



あさりの旬は春から初夏にかけて。酒蒸しは簡単で美味しいですね。鍋にあさりと酒を入れ、蓋をして火にかけます。暫くしたら「カチッ、カチッ」と口を開き始める小さな音。しっかり開いたらお皿に盛り、木の芽や三つ葉を添えると素敵な一品のできあがり。

大野瀬戸で育つ「大野あさり」は全国的に有名で、大粒で味が濃いのが特徴です。明治時代から一粒一粒丁寧に収穫する「手掘り漁法」が受け継がれています。



廿日市市認知症初期集中支援チーム

認知症専門医と専門知識をもつ看護師・社会福祉士で構成しています。

認知症またはその疑いがある方やご家族を訪問し、相談に応じます。病院受診やサービス利用、家族への支援など初期支援を包括的、集中的に行います。

「初期」とは早期段階の意味ではなく、認知症への関わり方の初期（ファーストタッチ）という意味を持っています。「集中」は、おおむね6カ月を目安に本格的な介護チームや医療につなげていくことを意味しています。

対象となる人は？

40歳以上で、自宅で生活されており 認知症が疑われる人や認知症の人で、次の①～④のいずれかに該当する人

- ①認知症の診断を受けていない人
- ②継続的な医療を受けていない人
- ③介護保険サービスを受けていないまたは中断している人
- ④認知症の症状が強く、どのように対応してよいか困っている人

まずは包括支援センターにご相談ください。



設置機関 医療法人みやうち 廿日市野村病院

発行元：地域包括支援センターはつかいち中部

住所 廿日市市宮内 4286-1 ☎0829-20-4580 FAX0829-20-4590

営業時間 8:30～17:15（土・日・祝休み） 訪問も致します。お気軽にご相談ください。